

# JBAのABS支援活動

平成25年12月11日 高知大学

**「生物多様性条約におけるアクセスと利益配分  
—名古屋議定書以降の現状」**

一般財団法人 バイオインダストリー協会  
生物資源総合研究所  
野崎 恵子

# バイオインダストリー協会(JBA)

Japan Bioindustry Association



## 歴史

1942年 酒精協会として創立

1987年 (財)バイオインダストリー協会に名称変更

2011年 一般財団法人に移行



## 活動内容 ([www.jba.or.jp](http://www.jba.or.jp))

1. 政策提言・政策対話
2. 先端バイオ情報提供(シーズ発掘、産業化、年間セミナー40回)
3. オープンイノベーションの推進(BioJapan、ベンチャー支援等)
4. 国際ネットワーク(アジア連携等)
5. バイオインダストリー発展の基盤整備  
(遺伝資源、カルタヘナ法、知的財産、人材育成、等)
6. 研究奨励(バイオインダストリー協会賞等)

2014.10/15~17、パシフィコ横浜

例年1月に募集開始

# JBA/ABS活動(1)

- 1991 「アジア諸国における研究開発基盤形成に関する基礎調査(熱帯地域と生物多様性の保全に関する基礎調査)」(通商産業省)
- 1993-1995「熱帯生物機能の利用技術」(NEDO)
- 1993-1999「生物多様性の保全と持続可能な利用等に関する研究協力」(ODA)  
共同研究開始 タイ(1993),インドネシア(1994),マレーシア(1995)
- 1995 生物多様性条約に初参加(COP2)
- 1998 生物資源総合研究所設立
- 1999 「遺伝資源アクセスガイドブック」発行(手引前身)
- 2001 製品評価技術基盤機構の中に、BRC設置
- 2002 「環境対応技術開発等(生物多様性条約に基づく遺伝資源アクセス促進事業)」(経済産業省)～現在

# JBA/ABS活動(2)

## ABS情報提供

- ・説明会開催
- ・専用WEBサイト([www.mabs.jp](http://www.mabs.jp))



## 相談窓口 **無料 & 守秘!**

累計485件(2004~2013.11)

## 海外アクセスルートの開拓

- ・2国間ワークショップ
- ・現地調査



COP11報告会(2012.11)

## 国際交渉への参加

- ・政府への助言(タスクフォース委員会)
- ・国際交渉における政府への支援



COP11(2012.10)

本年度の活動

# 平成25年度環境対応技術開発等 (生物多様性総合対策事業)

## 遺伝資源に円滑にアクセスできる環境の整備

- ・アクセス手引の英語版作成、ヒアリング
- ・2国間セミナー(インドネシア:予定)
- ・ABSに関する相談窓口の設置(面談、メール、電話:通年)
- ・ABSに関する情報の発信  
専用WEBサイト:通年(情報の整理と更新)  
セミナー開催:7月(東京)、11月(九州大学)、12月(高知大学、  
京都大学)、2月(東京)  
他、各大学、企業、学会等 要望に応じて開催

## 国際交渉の支援

- ・タスクフォース委員会の開催(9月、1月、3月)
- ・国際ワークショップの開催(中国)
- ・国際交渉等への出席(ICNP-3:2月、韓国・平昌)

# 専用WEBサイト([www.mabs.jp](http://www.mabs.jp))の主な内容

## CBD関連国別情報

・各国法令と日本語訳

(参考：[www/cbd.int/abs/measures/](http://www/cbd.int/abs/measures/), [www.cbd.int/countries/](http://www.cbd.int/countries/))

CBD事務局のサイト

## 資料室

生物多様性条約、ボン・ガイドライン、名古屋議定書、  
遺伝資源へのアクセス手引、手引別冊、ABSパンフレット、  
ABSアーカイブ、ABS議論の推移、CBD関連国際会議報告、  
JBAのCBD/ABS関連発表資料・報告(過去セミナーの資料等)  
委託事業報告書(H15年～ 国際会議、セミナー、関係資料)

 リンク 有用な関係ホームページへ

 コンタクト 相談フォーム

# 委託事業報告書内容(例:24年)



## 本編:事業報告、国際状況調査、等

- ・ABSに関するベストプラクティスモデルの構築

**アクセス手引別冊:米国癌研究所の了解覚書**:特に前文の最後部分”It is understood that . . . no responsibility for any contravention of such policies by the [SCO]”が参考に

- ・EU,スイスの分析(法案を分析)
- ・海外出張報告書(マレーシア、ベトナム)



## 資料編

- ・欧州委員会のパブコメに対する国際商業会議所の回答
- ・欧州連合、欧州議会及び理事会規則(案)
- ・スイスにおける名古屋議定書実施のためのABS措置案に関する説明覚書
- ・マレーシアのABS法(案)
- ・国家の管轄権以遠の深海底における海洋遺伝資源のABS規制に関する議論
- ・WIPO、IGCにおけるGR等に関する議論の動向～2012年2月以降の動き～
- ・ニュージーランドにおけるマオリ保護に関する最近の進展
- ・台湾におけるABS規制の動向
- ・九州大学とネパールとのキノコを用いた共同研究

# 生物遺伝資源へのアクセスと利益配分 —生物多様性条約の課題—

(財)バイオインダストリー協会 生物資源総合研究所(監修)  
磯崎博司・炭田精造・渡辺順子・田上麻衣子・安藤勝彦(編)

生物遺伝資源へのアクセスと利益配分 (ABS) の問題は、生物多様性条約 (CBD) の大きな論点の一つであるが、その内容が非常に複雑化しているため、その全容を理解するのは容易ではない。

本書は、CBDの基礎知識、CBD締結の経緯、ABS交渉の現状と課題、ABSに関する主要論点、国内外における取組、注目を集めたCOP10の結果と今後の課題など、企業や研究者が理解しておくべき内容をまとめたものである。

本書は、ABS問題に関する必読書である。

信山社より刊行(定価4,515円)  
JBAのHP>資料室>頒布刊行物にある専用申込書をダウンロードして申し込むと送料込み3,950円に!

